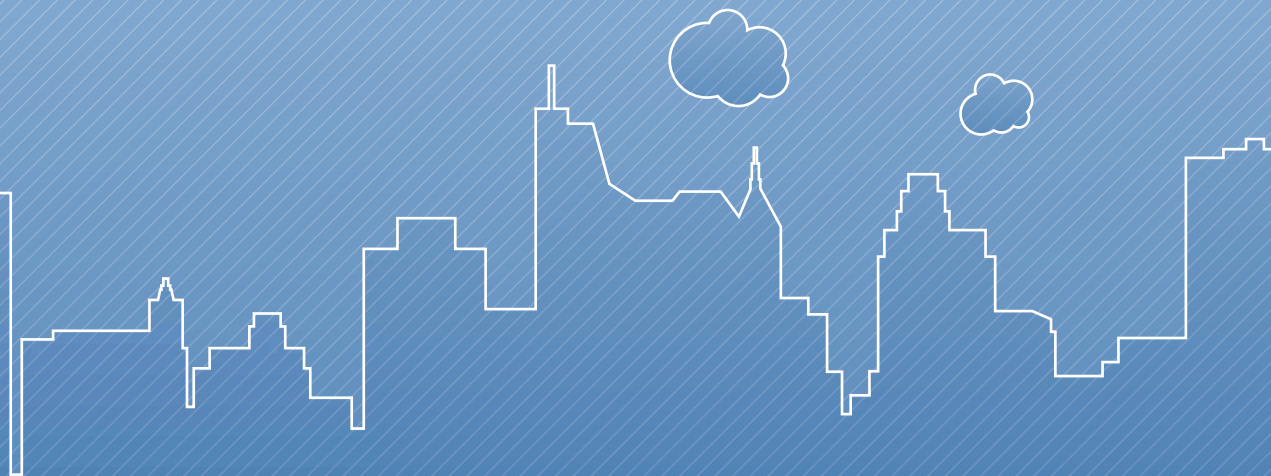


パーク24 株主通信 2015

第31期
第2四半期

2014年11月1日
▼
2015年4月30日

証券コード 4666



1971



CONTENTS

- 01 ・グループ事業概要
- Ⅱ ・パーク24グループ サービスネットワーク
- 03 ・株主の皆様へ
- 04 ・社長メッセージ
- 08 ・特集：会員戦略
- 10 ・トピックス
- 12 ・財務ハイライト(連結)
- 14 ・株主様インフォメーション
- 15 ・コーポレートデータ・株式情報

人とクルマと 街と、

利便性の高い駐車場とモビリティのネットワークを拡大させ、
人にとって安全でクルマにとって便利な街にとって環境に優しい、
快適なクルマ社会を実現していきます。

グループ事業概要

駐車場事業

タイムズ駐車場



グループ会社のタイムズ24株式会社が運営。24時間365日利用可能な無人時間貸駐車場タイムズを運営しています。土地オーナー様から遊休地などを賃借して駐車場を運営する「ST（一般タイムズ）」と、商業施設などの来客用駐車場を賃借する「TPS（タイムズパートナーサービス）」の2種類の駐車場を展開しています。



モビリティ事業

レンタカーサービス「タイムズカーレンタル」、
カーシェアリングサービス「タイムズカープラス」、
ロードサービス「カーレスキュー」の3つのサービスを運営しています。

タイムズカーレンタル



グループ会社のタイムズモビリティネットワークス株式会社が運営。全国47都道府県で展開しており、豊富な車種/バリエーションをご用意しています。予約は最短30分営業時間前まで可能で、お客様の多彩なニーズにマッチしたサービスを提供しています。



タイムズカープラス



グループ会社のタイムズ24株式会社が運営。会員登録することで24時間いつでも15分単位から利用可能なカーシェアリングサービスです。新しい移動手段として、積極的に拡大しています。



カーレスキュー



グループ会社のタイムズレスキュー株式会社が運営。車両事故や故障に対応するロードサービスです。全国9,685カ所の整備工場と提携し、受付手配から現場での応急対応などを行っています。



2015

パーク24グループ サービスネットワーク



総駐車場数
(タイムズ駐車場、管理受託、月極、海外)
件数 16,504件
台数 634,029台



店舗数 465店
台数 26,139台



会員数 470,149人
台数 11,851台



加盟店数 9,685店



タイムズクラブ
会員数 5,320,355人



タイムズビジネスカード
発行枚数 355,460枚

- グループ各社本社
- 支店・営業所
- 海外拠点

上段: タイムズ駐車場件数・台数
中段: タイムズカーレンタル店舗数
下段: タイムズカープラス設置台数

※タイムズカーレンタルおよび
タイムズカープラスは
日本国内のみ展開

韓国

173件 22,841台

九州・沖縄

1,014件 29,682台
75店
623台

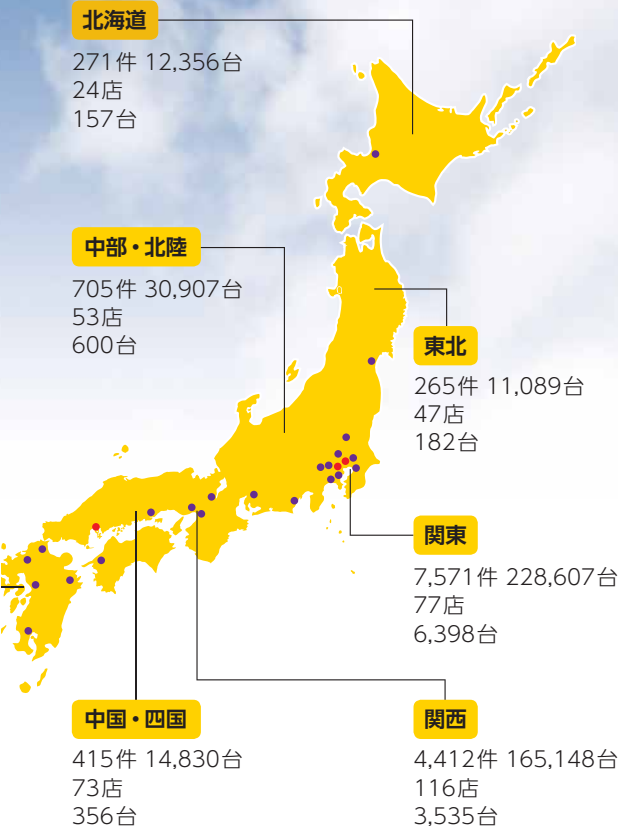
台湾

232件 10,142台

株主の皆様へ

2015

2015年4月30日現在



株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

2015年度(2015年10月期)上期の連結業績をご報告させていただきます。

パーク24グループは、当上期におきましても、「快適なクルマ社会の実現」に向け、駐車場とモビリティサービスの規模を拡大し、新サービスの創出と多様なニーズに応えるきめ細かなオペレーションの実施に努めてまいりました。

しかしながら、消費税増税分の直接的な影響および増税後に低下した個人消費が復調に至らず、当上期の売上高は半期で過去最高となったものの、各段階利益で前年同期比減益となりました。

今後も株主の皆様のご期待に沿うべく、グループ一丸となり業績の回復およびさらなる成長を目指してまいりますので、倍旧のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



2015年7月

代表取締役社長

西川 光一

社長メッセージ

2015年度上期の 連結業績について



売上高は過去最高を更新した一方、消費税増税による個人消費回復の遅れにより、各段階利益で減益となりました。

当上期(2014年11月-2015年4月)の連結業績は、売上高865億円(前年同期比7.0%増)、営業利益79億円(同8.7%減)、経常利益79億円(同8.6%減)、四半期純利益49億円(同7.8%減)でした。当上期の売上高は、駐車場とモビリティサービスのネットワーク拡大により過去最高を更新した一方で、2014年4月の消費税増税による個人消費の回復の遅れにより、各段階利益で減益となりました。

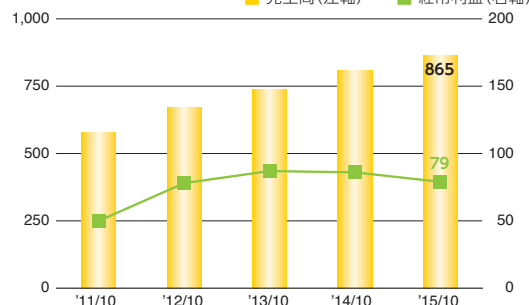
経常利益の前年同期比では、主なプラス要因として、前期に開発したタイムズ駐車場の収益化により14億円、またタイムズカープラスの規模拡大と利用増加によりモビリティ事業で7億円の増益寄与などがありました。

一方で主なマイナス要因として、消費税込のわ

かりやすい料金体系でサービス提供をしている駐車場事業において、消費税率3%上昇分の直接的な影響(価格転嫁分による増益分を含む)により10億円、また景気弱含みによる個人消費減少などにより20億円の減益影響があり、これらの結果、経常利益は前年同期比減益となりました。

当上期の事業別連結業績は、駐車場事業は売上高655億円、営業利益107億円、モビリティ事業は売上高210億円、営業利益6億円となりました。中でも、モビリティ事業のカーシェアリングサービス「タイムズカープラス」は前上期3億円の営業赤字から当上期3億円の営業黒字となりました。

● 売上高、経常利益の推移(上期実績) (億円)



2015年度上期の

駐車場事業の取り組みについて



地域に密着して開発と運用を行う「エリア密着」体制を推進し、
上期で過去最高の新規開発件数を達成しました。

前期より、営業担当を地域別に細分化する「エリア制」の営業体制を導入しましたが、当期からこの体制をより深めるため、そのエリアに営業拠点を新店し、地域に密着して開発と運用をきめ細かく行う「エリア密着」体制を推進しました。当上期は10ヵ所の営業拠点を新規新店し、現在29ヵ所の営業拠点を展開しています。

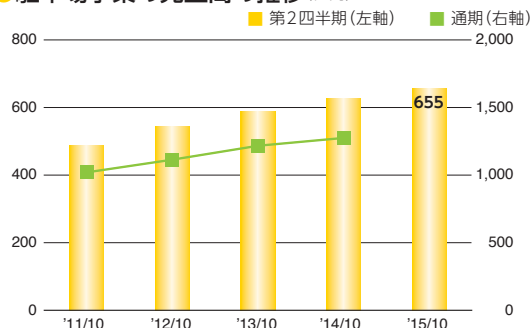
地域に密着した営業活動を行った結果、街の核となるような商業施設駐車場などのタイムズ化が堅調に進んだほか、一般タイムズの新規開発件数が836件と半期で過去

最高の件数となり、当上期のタイムズ駐車場の開発は1,029件40,506台と好調な結果となりました。これにより、駐車場事業における来期以降の収益基盤となる国内タイムズ駐車場総運営件数および台数は当上期末時点で14,653件(前年同期比9.2%増)492,619台(同8.6%増)に達しました。

また、既存駐車場の収益性向上も継続して取り組みました。エリア密着体制を導入したことで、周辺環境の変化に応じて個々の駐車場に最も適した料金設定や収益最大化施策に迅速に取り組むことができました。



● 駐車場事業の売上高の推移 (億円)



2015年度上期の

モビリティ事業の取り組みについて

車両規模の拡大とお客様の利便性向上に向けた取り組みを継続しました。

モビリティ事業においては当社グループの掲げる「快適なクルマ社会の実現」に向けて、規模の拡大とお客様の利便性向上に向けた取り組みを継続しました。

お客様のニーズに合わせた車両配備を積極的に進め、当上期時点でモビリティ車両数は37,990台(前期末比1,673台増)、うちカーシェアリングサービスの車両数は11,851台(前期末比1,790台増)となりました。

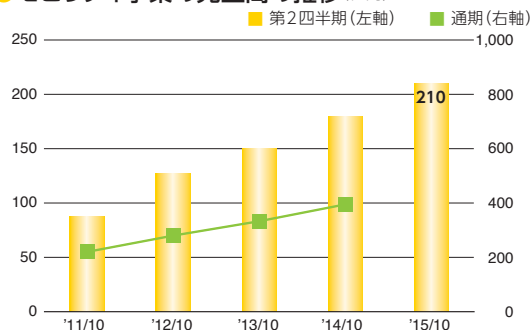
レンタカーサービスではタイムズカープラス会員様向け簡易貸出サービス「ピッとGO」の導入を進めるなど、お客様がより利用しやすい環境作りを進めました。

カーシェアリングサービスでは車両稼働に余地のある平日の利用向上に向け、法人会員

獲得を進めた結果、法人会員様による平日利用が拡大しております。併せて、会員様向けプログラム「TCPプログラム」によるエコ運転の推進や、ハイブリッド車の配備などによる燃料費低減を推進しました。

また、タイムズクラブ会員様へユーズドカーのインターネットによる直接販売を開始しました。外部評価機関による査定で高評価を得た、安全安心で高品質な車両を販売します。さらに、仲介業者などを通さないため、会員様へ安価に提供することが可能になります。利用の拡大だけでなく車両の生涯収益全体を最大化する取り組みを行いました。

●モビリティ事業の売上高の推移(億円)



通期の業績の見通しについて



駐車場事業では、収益最大化のための施策を実施し、モビリティ事業ではよりご利用しやすい環境を整え、期初計画の増収増益を目指します。

2015年10月期は期初計画の経常利益185億円達成を目指します。

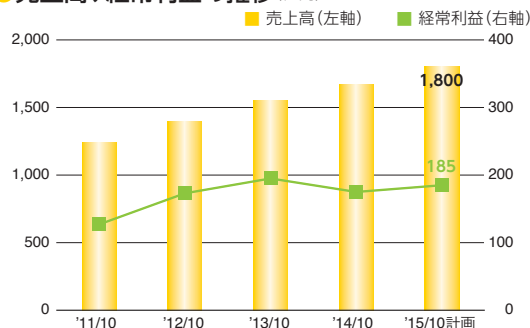
駐車場事業では、タイムズ駐車場の開発に関して、開発件数で過去最高を更新する2,000件68,000台を目指します。引き続き収益最大化のために、タイムズ駐車場周辺店舗との提携や認知向上施策のほか、状況に応じた駐車場ごとの料金見直しなどを実施していきます。

モビリティ事業では、カーシェアリングサービス車両の当期末13,000台設置に向けて、タイムズ駐車場だけでなく新幹線停車駅やタイ

ムズ駐車場以外への車両配備も推進し、よりご利用しやすい環境を整えます。また法人がもつ社用車の利用最適化プログラムを提示し、レンタカーサービスおよびカーシェアリングサービスの活用をご提案する「法人向け営業」を進めていきます。

これらにより、2015年10月期の連結業績は売上高1,800億円(前期比7.8%増)、経常利益185億円(同5.7%増)の増収増益を目指します。

● 売上高、経常利益の推移(億円)



特集：会員戦略

ポイントプログラム 「タイムズクラブ」

会員数
530万名!



サービス拡大中!!

パーク24グループでは、タイムズ駐車場をはじめレンタカーおよびカーシェアリングサービスや提携施設優待サービスなどをベンリでオトクにご利用いただけるポイントプログラム「タイムズクラブ」を展開しており、当上期末で会員数は530万名を超えました。

今後タイムズクラブは、交通インフラサービスや街の活性化につながるサービスなど数多くのサービスを引き続き提供することで、会員様のカーライフをサポートし、「快適なクルマ社会の実現」を目指します。

タイムズクラブの提供しているさまざまなサービス

■各種サービス・施設の利用でタイムズポイントが「たまる」「つかう」

- タイムズ駐車場
- レンタカーサービス
- カーシェアリングサービス
- 車検・板金サービス
- ロードサービス
- タイムズ スパ・レスタ(温浴施設)
- オンラインショップ「タイムズカーライフ」でお買い物

■タイムズポイントの商品券・提携マイルなどへの交換

- タイムズチケット(駐車券)へ
- 提携施設のクーポン・商品券へ
- 提携先マイルおよびポイントへ移行

■タイムズクラブ会員向けサービス

- 駐車料金優待サービス※ ※一部タイムズ駐車場で実施
- パーク&チャージ(電気自動車の充電)
- 個人向けユーズドカーインターネット販売
- 約6,500店舗の提携施設で会員優待提携

詳細は
タイムズクラブ ホームページ
<http://www.timesclub.jp>



交通インフラ
サービス

タイムズ駐車場・
モビリティサービスの拡大

数多くの
サービスを
提供

カーライフ
サポート

タイムズクラブ会員様に
より充実したカーライフを!

街の活性化

街の商業施設との提携

便利なカーライフを
サポートする新たなサービス

Times Club Card

<http://www.timesclub.jp>



8924 1234 8924 8924



カーシェアリング



パーク&チャージ



タイムズのユーズドカー販売



レンタカー



ロードサービス



タイムズ スパ・レスタ

トピックス

「TOYOTA i-ROAD」による ワンウェイ型カーシェアリングの 実証実験開始!

新しい都市型交通ネットワークの構築に向けて、東京都内におけるワンウェイ型カーシェアリングサービスの期間限定の実証実験として、「Times Car PLUS TOYOTA i-ROAD Drive」を開始しました。

「TOYOTA i-ROAD」は3輪タイプの超小型電気自動車(EV)で、狭い道も通れることから、観光の移動手段としても活用できる可能性があり、電気自動車のため環境にも良い、新たな移動手段として期待されています。

今回の実証実験では、タイムズステーション有楽町イトシアで「TOYOTA i-ROAD」を借りて都内を走行した後、東京タワーや浅草、お台場パレットタウン、東京ドームシティなどの計5ヵ所の所定駐車場に返却可能なワンウェイ型のサービスを提供します。

この実証実験をとおして、超小型車両であるパーソナルモビリティの都心部での使い勝手や利用者の行動パターンなどを把握し、ニーズを検証しながら新しいモビリティの可能性を追求し、利用者の移動に対する新たな価値観やサービスを創造していきます。

特設ホームページのアドレスはこちら ↓
<http://plus.timescar.jp/ttid/index.html>



路上荷さばき削減の取り組みで、 グリーン物流優良事業者 経済産業大臣表彰を受賞!

2014年12月、第13回グリーン物流パートナーシップ会議において、グリーン物流優良事業者経済産業大臣表彰をタイムズ24株式会社が受賞しました。

東京都武蔵野市吉祥寺商店街において配送業者車両の路上駐車、路上荷さばきが恒常化していました。これらを削減するため、2008年より武蔵野市土地開発公社様の土地をタイムズ駐車場化し、午前6時～12時の間を定額料金で利用できる「タイムズ荷さばきカード」を導入し路上駐車のを防止を推進してきました。

受賞に際して、路上駐車や路上荷さばきの削減に成功し、二酸化炭素の低減やまちの景観、歩行者の快適性の向上も実現した取り組みとして高く評価されました。

今後も交通インフラサービス企業として、交通渋滞の緩和や環境負荷低減に取り組んでいきます。



表彰式の様子
(右から2番目)

パーク24柔道部の3選手が 全日本選抜柔道体重別 選手権大会で優勝!

2015年4月に行われた全日本選抜柔道体重別選手権大会において、パーク24柔道部所属の木戸慎二選手(男子60kg級)、海老沼匡選手(男子66kg級)、橋本壮市選手(男子73kg級)が日本一の座に輝きました。男子7階級中3階級をパーク24柔道部所属選手が制覇する快挙となりました。

第62回全日本産業別柔道大会や第69回東京実業柔道団体対抗大会においても優勝を飾るなど、部員の日々の努力が着実に成果となって表れています。今後も「頂を目指して」柔道部一同さらなる精進を続けてまいります。

選手ブログも掲載!

パーク24柔道部のホームページはこちらから
<http://judo.park24.co.jp/>



財務ハイライト(連結)

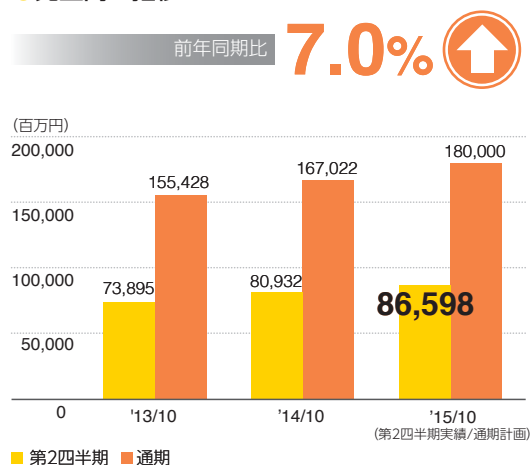
▶ 詳細な財務情報は、パーク24ホームページ「投資家情報」に掲載の**決算短信**および**第2四半期報告書**をご覧ください。

<http://www.park24.co.jp/ir/>

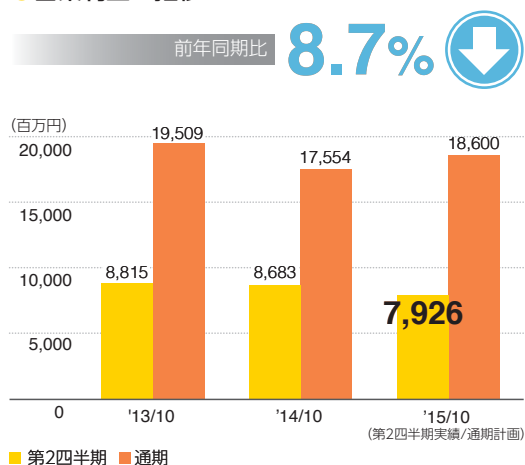
▶ 売上高、利益の推移

駐車場事業・モビリティ事業ともに、事業拡大により売上高は前年同期比で増収となりました。一方、消費税増税による交通量減などにより駐車場事業が減益となった結果、各段階利益は前年同期比で減益となりました。

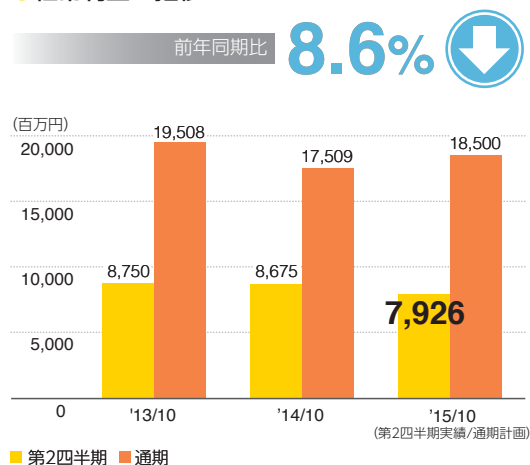
● 売上高の推移



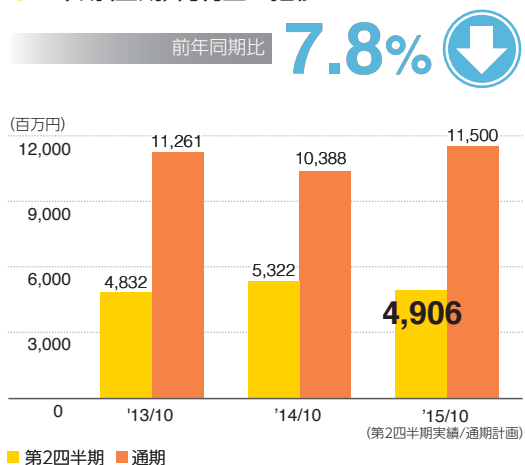
● 営業利益の推移



● 経常利益の推移



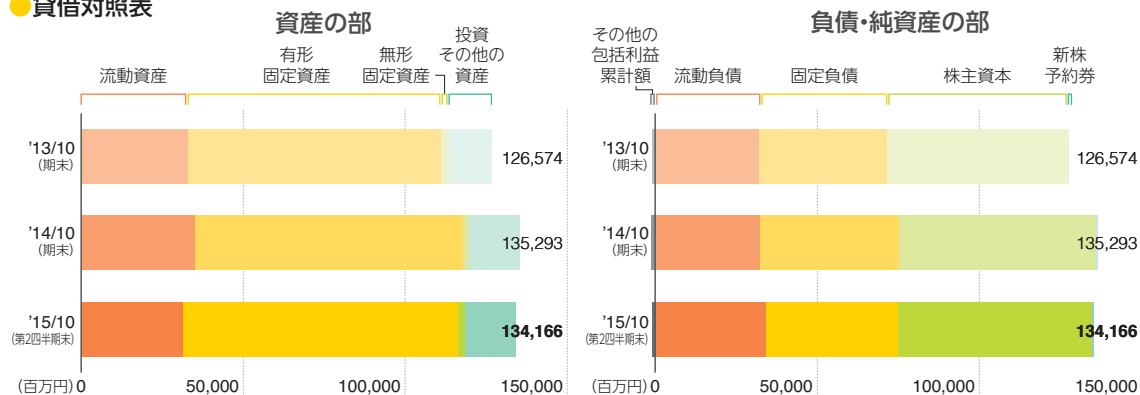
● 四半期(当期)純利益の推移



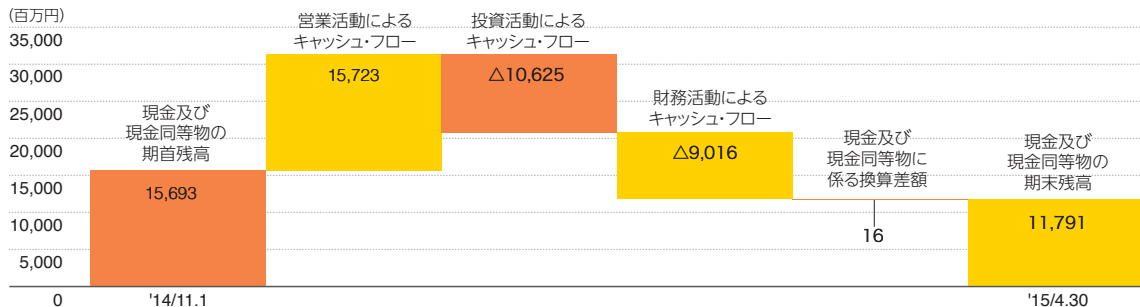
▶ 貸借対照表、キャッシュ・フロー

モビリティ事業において、レンタカーおよびカーシェアリングサービスの車両配備を進めました。その結果、固定資産は1,027億円となり、投資活動によるキャッシュ・フローでは、有形固定資産の取得により83億円の支出となりました。

● 貸借対照表

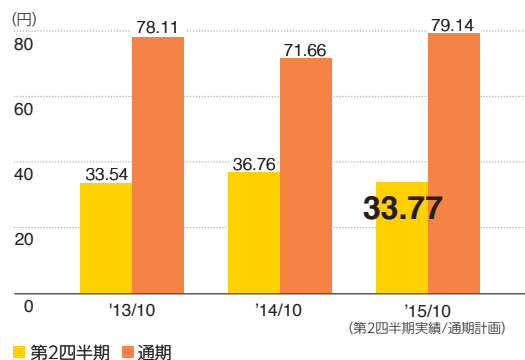


● キャッシュ・フロー



▶ 1株当たり四半期(当期)純利益

消費税増税の影響による四半期純利益の減少の結果、1株当たり四半期純利益は前年同期比2.99円減の33.77円となりました。



株主様インフォメーション

株主優待のご案内

パーク24は、通期の株主通信発送時に
年に1回の株主優待「タイムズチケット」を贈呈しています。

株主優待の内容

100株以上 1,000株未満…**2,000円分**

1,000株以上 5,000株未満…**5,000円分**

5,000株以上 ……………**10,000円分**



▶株主優待

「タイムズチケット」に関する
お問い合わせ (10:00~18:00)

0120-39-8924
(通話料無料)

株主優待「タイムズチケット」が利用できる施設のご案内



タイムズ駐車場

<http://times-info.net/>



タイムズ カー レンタル

<http://rental.timescar.jp/>



タイムズ スパ・レストア

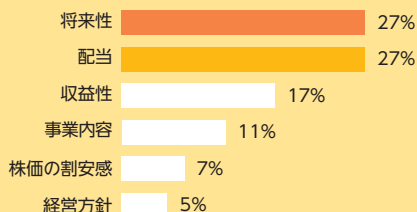
<http://www.timesspa-resta.jp>

アンケート集計結果 パーク24株主通信2014(第30期通期)

多数のご回答をいただき、誠にありがとうございました。

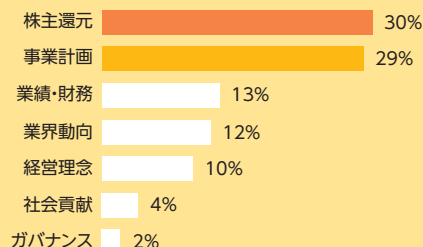
皆様から頂戴した貴重なご意見・ご要望は、経営や今後の株主通信に活かしてまいります。

当社株式を購入した理由



将来性、
配当への
関心が強い

当社に関してもっと知りたい情報



株主還元と
事業計画が
上位に

株主還元について

株主の皆様に対する還元方針としては配当を重視しており、将来に向けた投資資金需要を内部留保として確保した後の資金の中から最大限の利益配分となるように株主の皆様へ配当を実施する方針としています。

内部留保については、新たなクルマ社会の創造と企業価値の最大化を目的とした設備投資などを主な使途に想定しています。配当については年1回の期末配当で、1株当たり年間50円を計画しています。

コーポレートデータ・株式情報 (2015年4月30日現在)

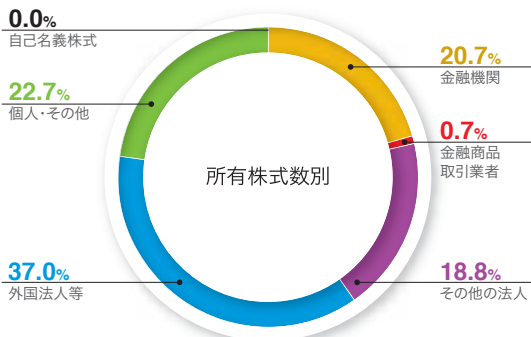
会社概要

商号	パーク24株式会社	
本社所在地	東京都千代田区有楽町二丁目7番1号 TEL: 03-3213-8900(代表)	
創業	1971年8月26日	
役員	代表取締役社長	西川 光一
	取締役	佐々木 賢一
		川上 紀文
		川崎 計介
	常勤監査役	上西 清志
	監査役	狩野 享右 竹田 恒和
資本金	83億57百万円	
決算期	毎年10月31日	
従業員数	2,223人(連結)	
会計監査人	新日本有限責任監査法人	

株式の状況

会社が発行する株式の総数	283,680,000株
発行済株式の総数	145,429,204株
1単元の株式数	100株
株主数	29,392名

株式の分布状況

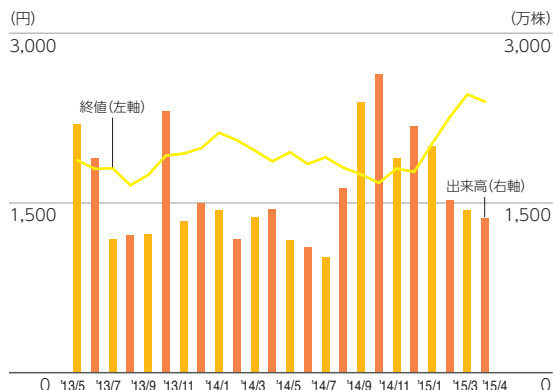


大株主の状況

大株主	所有株式数(百株)	議決権比率(%)
有限会社千寿	217,464	14.95
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	125,394	8.62
西川 光一	81,104	5.57
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	79,513	5.46
MSCO CUSTOMER SECURITIES	65,186	4.48
西川 功	61,940	4.25
日本信号株式会社	38,532	2.64
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	35,827	2.46
西川 恭子	32,000	2.20
浅井 千寿	25,580	1.75

※ 2014年9月自己株消却を実施。消却後自己株式数977株。

パーク24の株価の推移



株主メモ

証券コード	4666
事業年度	11月1日～翌年10月31日
定時株主総会	毎年1月下旬
基準日	定時株主総会 10月31日 期末配当 10月31日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

■「株式事務」に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

0120-232-711

(通話料無料／土・日・祝祭日を除く9:00～17:00)

※当社株式事務に関する一般的なお問い合わせも受け付けています。

■「IR情報」に関するお問い合わせ先

経営企画本部 グループ企画部

TEL：03-3213-8910 FAX：03-3213-8914

E-mail ir@park24.co.jp

ホームページにもIR情報を掲載しています。

<http://www.park24.co.jp/ir/>

ご注意

- ① 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社など）で承ることとなっています。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ② 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっていますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- ③ 配当金の口座振込のご指定につきましては、お手続きは各口座管理機関を経由して、配当金振込指定書をお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きについての詳細は、各口座管理機関にお問い合わせください。
- ④ 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

土地情報を募集しています！ ●土地活用にお困りの方 ●月極駐車場の管理でお困りの方 ●不正駐車にお困りの店舗経営者様 など

まずは私たちパーク24グループにお気軽にご相談ください。

0120-00-8924

パークニージュヨン

(通話料無料／土・日・祝祭日 年末年始を除く9:00～17:00)

※お電話をおかけいただいたエリアの担当拠点につながります。



パーク24 株式会社

A-02-15-2015.07-37,000-1